

社保シリーズ

歯周病重症化予防治療 (P重防)

1

社保研究部

2020年保険改正で歯周病重症化予防治療(略称:P重防)が新設された。歯周病安定期治療(略称:SPT)の対象となっていない歯周病を有する患者に対する継続的な治療について新たな評価として導入された。

症例解説

従来、歯周病の継続管理は、中等度から重度の治療過程が対象であった。P重防が導入され歯肉炎を含んだ軽度の患者も継続管理の対象となった。10代の単Gを有する患者の重症化の抑制を目的にご活用いただけるのではないだろうか。症例で解説する。

対象患者は①歯管、歯在管、または特疾管を算定した患者②2回目以降の歯周病検査で歯周ポケットが4mm未満であるが、歯肉に部分的な炎症が残るまたはプロービング時に歯肉から出血を認めた患者となる。①および②を満たした場合P重防での歯周疾患の管理ができる。ただし、特疾管の場合は歯周疾患に関する治療計画が必要となる。また、歯周病検査にはP混検は含まれないので注意が必要となる。

症例では、2回目の検査でポケットの改善を認めるが、一部出血があるためP重防で管理している(4/29)。

P重防は、歯数(乳歯は歯数に含まない)に応じて点数が区分されており、1~9歯150点、10~19歯200点、20歯~300点となっている。P重防の開始に当たっては検査結果の要点や治療方針を記載した管理計画書の作成が必要となる。計画書は患者等に文書提供し、その写しをカルテに添付する。

P重防は3月以上に1回の算定となり、4月に1回目を算定し、2回目は、7月以降の算定となる(7/14)。また、管理期間中の歯周病検査およびそれに伴う管理計画書の作成・文書提供は必要に応じて行う。

歯周病検査結果によってSPTからP重防またはP重防からSPTへの移行は可能である。ただし、前回SPTまたはP重防算定から3月目以降の算定となる。すなわち、歯周病検査結果によって歯周病管理方法が決まるため齟齬の無いよう配慮が必要だ。

また、P重防を算定した日以降は、訪問口腔リハ、小訪問口腔リハ、歯周炎に係る咬調、歯周基本治療、歯清、P基処、P処、在口衛、非経口処の算定はできない。また、歯清、非経口処、SPTを算定した月はP重防を算定できない。ただし、歯清の後日に行った検査結果をもとに、P重防へ移行する場合は、同月であっても算定できる(4/21)。

初診月の歯管は、80点を算定する。

P重防開始前の同月の歯清は算定できる。

P重防の算定要件は、ポケット4mm未満。歯肉の炎症など。

P重防開始後、歯周病検査は算定できる。

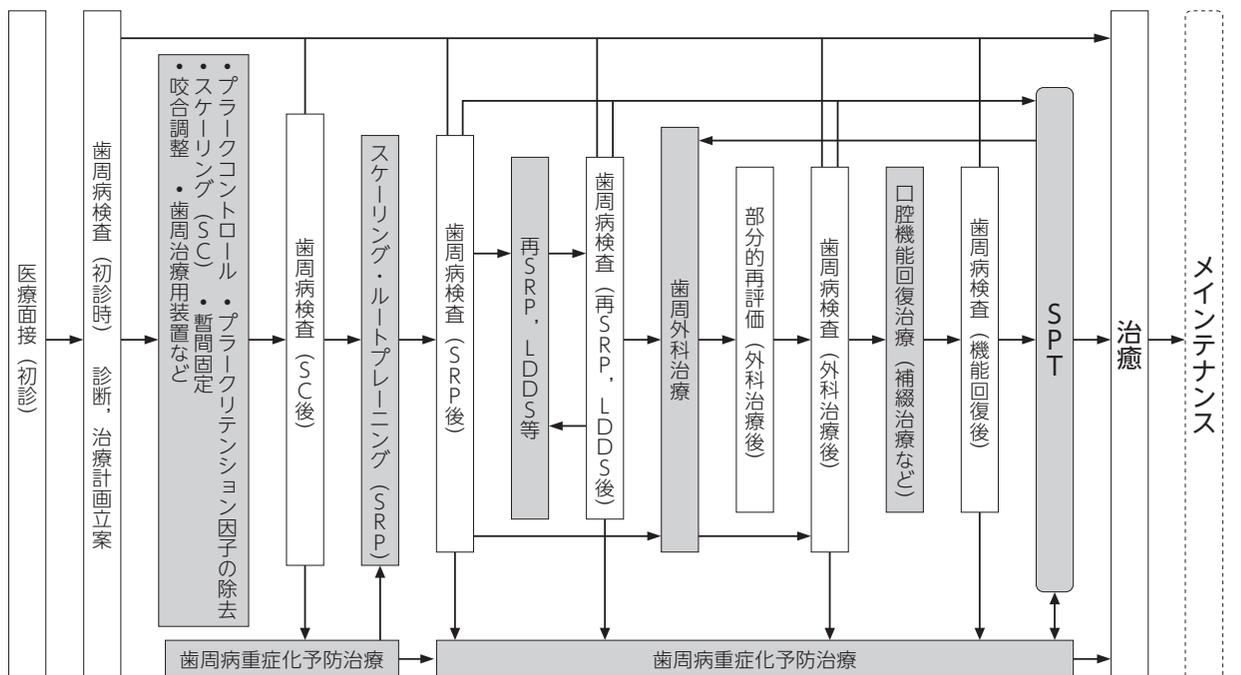
P重防算定後は、P基処は包括される。

初診月から7カ月目以降に、歯管に長期管理加算が算定できる。

部位	傷病名	診療開始日
6-6 6-6	単G	令和2年4月14日
〔年齢〕 13歳 男性		
〔主訴〕 歯ぐきが腫れて痛い		
〔所見〕 全体に歯肉炎症あり		

月日	部位	療法・処置	点数
4/14		初診	261
	6-6 6-6	X-Ray パ電(所見略)	402
		P基検(検査結果別紙, 略)	200
		P画像5枚 (10+10×4)	50
	6-6	SC (72+38×2)	148
		実地指1 (16:05~16:20)	80
		スクラビング法による指導を指示	/
		歯管 文 (80+10)	90
		口呼吸みとめ, 全体にプラーク付着(++)	/
4/21		再診 明細	54
	6-6 6-6	SC (72+38×2)	148
	6-6 6-6	P基処(JG, H ₂ O ₂)	10
		歯清	70
4/30		再診 明細	54
	6-6 6-6	P基処(JG, H ₂ O ₂)	/
		P検査(検査結果別紙, 略) (200×50/100)	100
		P重防(SC)	300
4月分 3日分 1,967点			
7/14		再診 明細	54
		P検査(検査結果別紙, 略)	200
	6-6 6-6	歯管 文 (100+10)	110
		P重防 歯清(DH 保険医花子)	300
		P基処(JG, H ₂ O ₂)	/
		実地指1 (16:01~16:18)	80
		スクラビング法による指導を指示	/
7月分 1日分 744点			
10/20		再診 明細	54
		P検査(検査結果別紙, 略)	200
	6-6 6-6	歯管 文 長期 (100+10+100)	210
		P重防 歯清(DH 保険医花子)	300
		実地指1 (16:32~17:10)	80
		スクラビング法による指導を指示	/
10月分 1日分 844点			

図1 歯周治療の基本的な流れ



「歯周病の治療に関する基本的な考え方」(2020年3月 日本歯科医学会)をもとに作成